

発行 日本音楽療法学会

理事長 日野原重明 副理事長 村井 靖児

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 浜松町一丁目ビル6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337



音楽療法士の成長と スーパービジョン

常任理事

栗林 文雄

最近スーパーバイザーとして音楽療法士のスーパービジョンに立ち会う機会が増している。それも初心者の方たちだけでなく、臨床歴の長い認定資格保持者からの依頼が少なくない。臨床活動を必死で展開している頃には見えていない自分の限界が、ある程度経験を積む中で視界に入ってくる。また長い臨床の道りを歩んでいると、自分の活動の成果が疑問におもえる時期が必ずやってくる。このような認定音楽療法士がその活動を公開し、スーパーバイザーの助けによって自分のセッションの特徴をよく理解しようとするのであろう。これは好ましいことである。

このような場面で不思議な体験をすることがある。普段はよく見えなかった隣人の性格が、セラピスト席にその人を置くと明快に見えてくるのである。レントゲン写真を見るように、その人の性格や心の動きが一見して理解できるように感じられる。おそらく、セラピストが対面している重度の障がい児や認知症高齢者たちの存在感とその重量感を、スーパーバイザー自身が長年体験してきたからであろう。これらの参加者を背景にして目を凝らすと、その前に活動を展開するセラピストの人柄が透けて見えてくるように感じられる。

事例を2つあげてみよう。一見すると硬くて暗い性格に見えるセラピスト A さんがいる。しかし彼女は障がい児たちとの活動場面で、その外見と異なる柔軟で自由な性格が顔を出し、適度な厳しさの土台の上に、温かで明るい軽快な場面を作り出していた。それにより臨床活動に参加した全員が楽しめるような、引き締まった充実の時間が生まれていたのである。

反対に、柔和で優しく知的な印象を与える B さんの、中度ダウン症児童小集団セッションの印象は異なっていた。そこにやさしい雰囲気はあるものの、同時に無

関心さ、どこか不透明な無力感を感じたのである。まず対象者にセラピストの視線が十分とどいていない。またそれぞれの児童の行動にたいするセラピストの応答が鈍い。欲求不満の子供たちが室内を駆け回り、セラピストがのんびりとその後を追いかけている。まるで問題行動を生み出す為の活動となっており、集団の利点が活かされていない。ことわっておくが、日常生活において B さんは常識的に見える人であり、社交的な人間なのである。人は外見ではわからないものである。

なぜこのような非効果的な臨床活動が生まれてくるのであろうか。音楽療法臨床はセラピストにとって制限の少ない、きわめて自由な活動であることにその原因がある。特に児童への活動では伝統的に参加者の意欲が重視され、楽しい雰囲気が重んじられてきた。反面、学校教育における指導要領の様にセラピストの活動内容を規定する基準はない。また無償で行われることの多い音楽活動を厳しく批判する人間は少ないであろう。まして学会認定の音楽療法士による活動であれば、その活動内容にももの申す人間は周囲に少ないのではないか。親は子供を人質に取られている。専門性の壁が他領域からの批判をはじいている。つまりセラピストは全面的に放任され、自己責任においてその活動を計画立案実施する立場に放置されてしまう。自由な活動は便利なようで無責任になりがちである。セラピストの行動に思わぬクセや、笑顔に隠された深層の劣等感コンプレックスが影響を与えている。今回は児童への活動を例に挙げたが、基本的には他領域でも同様であると思われる。これが我々になぜスーパービジョンが必要とされるかの真の理由である。

第8回日本音楽療法学会学術大会（川崎）へのいざない

大会長 村井 靖児

若葉の鮮やかな季節となりました。会員の皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

さて、昨年来続けてまいりました第8回日本音楽療法学会学術大会の準備もいよいよ大詰めに入り、これからは皆様から頂いた発表のご応募を受けて、最後のプログラム作りにとりかかることとなります。

今回の学術大会のメインテーマは、「音楽療法の学と術～専門職への道のり～」です。第2次案内ですでに申しあげましたように、「専門職への道のり」という意味は、個々の音楽療法士の学と術の両面における成長ということです。同時に、その個人の成長に、養成に関わる大学などの教育機関がどのように関わり、そのあと学会が会員の皆様の学と術の深化にどのようにお手伝い出来るかに帰するとも考えられます。

今大会・講習会は、東洋一の音楽ホールであるテアトロ・ジーリオ・ショウワを擁する神奈川県川崎市の昭和音楽大学において、8月29、30、31日の3日間にわたって開催されます。東京都心からの足の便は非常に良く、新宿から小田急線急行で21分、東京駅および横浜駅各々から40分足らずです。また、最寄りの新百合ヶ丘駅から会場入り口までも徒歩5分という至便な場所です。

基調講演は、アメリカからロベルタ・W・ジャスティス先生をお招きし、米国における音楽療法士の教育、学生から臨床家への移行と成長、職場の待遇や状況、多岐にわたる実践の内容、そして専門家としての継続的な研修なども含めて、臨床家としての彼女の豊かな経験と幅広い視点から、優れた「音楽療法士である」ことについてのお話をうかがいます。

大会長講演は、大会テーマにちなんで「音楽療法におけるところ・わざ」というお話をする予定です。また、教育講演は「『音文化』という考え方をめぐって」と題して、人類学者の川田順造先生に、私たちの周りには様々な音楽を今一度「音」として捉えなおす作業の中から見えてくることについ

て、お話をさせていただきます。

今年の大会は実行委員の若い世代から出された多くのアイデアを取り入れ、これまでにない斬新なプログラムを企画しました。たとえば、①日本の音楽療法の黎明期のビデオと話、②ベテランの先生方によるセッションのビデオ供覧、③音、声、リズムに関して考えを深める講演や実践を見つめなおすためのワークショップ、④ポスターセッションの充実、⑤講習会、大会を大会テーマ「音楽療法の学と術～専門職への道のり～」を基軸にした展開、⑥講習会を24枠に広げ領域毎の完結性を工夫したこと、⑦自主シンポジウムの開催、などです。多くの魅力的なプログラムを楽しんでいただければと思います。

その中から、新しい試みのひとつである特別企画「音楽療法のパイオニアの臨床を観る」では、国内外の音楽療法の先駆者たちの貴重な映像を、ご自身も長年にわたって音楽療法の臨床実践と教育に携わってこられた松井紀和先生に解説をしていただきます。また、分科会では、ベテランの先生方のセッションがビデオで紹介されます。さらに、アフリカの太鼓の演奏によるリズム体験の共有、コミュニケーションのための声の遣い方、ピアノ/キーボード伴奏の基礎など、多彩なプログラムを通して新しい刺激が提供されることでしょう。

もちろん、学術大会のメインイベントである研究発表では、多くの会員の皆様から熱心な発表がなされることと期待しております。

これらのほかにも、先にお届けした大会第3次案内に掲載してあるような様々なイベントやサービスを満載して、皆様をお迎えいたします。どうぞこの夏は万難を排して、お仲間をお誘い合わせのうえ、第8回日本音楽療法学会学術大会・講習会にお越しください。関係者一同心からお待ちしております。

（8月29日講習会、30・31日学術大会）

■ 日本音楽療法学会プロジェクト研究について ■

学術・研究委員会

日本音楽療法学会では、2002年度より音楽療法に関わる学術研究を振興するためプロジェクト研究の公募・助成を行っています。つきましては、審査基準および申請にさいしての注意事項についてお知らせします。

1) 審査基準

プロジェクト研究は、音楽療法について優れた研究を蓄積し社会的認知を得ることを目的としています。したがって、質の高い研究であるかどうかを審査し適当と考えられた研究に助成金を出し、その成果を公表していただくことになっています。

審査基準は、研究題名、研究の意義、内容、対象と方法、準備状況、倫理面への配慮、研究歴・業績、研究経費の8項目について3段階評価、そして総合判断として5段階評価を行います。審査委員の総合判断の平均値で3点(普通)以上の研究を審査の対象として、上記8項目について検討し採択あるいは条件つき採択を決めるという手順をとっています。不採択になった申請者には、評価点(平均値)と審査員からのコメントをつけてご連絡しています。ちなみに2007年度は申請3件中、採択3件でした。

2) 申請にあたっての注意点

- ① 同じ研究者が複数年応募されることがあり、委員会にて2年連続して採択される場合は助成金を半額とし、3年連続は採択しないことにしました。これは、なるべく多くの方に助成したいとの考えに基づくものです。
- ② 申請者および研究協力者全員が学会員であることが必要ですので、研究協力者の方も入会されるようお願いいたします。
- ③ 成果発表として、本学会における研究報告および本学会誌にての論文発表が義務付けられています。論文は、編集委員会による論文審査を経てから掲載されますので、良い原著論文を書いていただくようお願いいたします。

2008年度も昨年同様の要領でプロジェクト研究が公募されます。上記の点を参考にして、良い研究計画を立て、多数の方に応募していただくようお願いいたします。



■ 2008年度日本音楽療法学会プロジェクト研究の募集 ■

学術・研究委員会

日本音楽療法学会では、2002年度より音楽療法に関わる学術研究を振興するためプロジェクト研究を行っております。2008年度も引き続き下記の要領で研究募集を行います。

つきましては、これまでの障害、疾病、予防医学などの領域のみならず、音楽学、社会学、文化人類学、哲学、美学など文化研究領域における研究についても積極的に公募し、採択された研究には助成金を交付します。

1) 応募〆切：2008年7月31日

2) 研究領域

- ① 量的研究など実証的研究領域
- ② 質的研究及び哲学・美学・社会学等の文化的研究領域
- ③ その他

3) 応募方法

所定の研究計画書を事務局に申請し、必要事項を記入のうえ提出してください。

なお、助成金は一研究につき上限100万円とし、会計報告を必要とします。

4) 審査方法

学術・研究委員会にて審査し、理事会で採択を決定します。

5) 研究報告

採択された研究は、2010年度大会で最終報告をしていただきます。(中間報告は行いません)

さらに、2010年度中に本学会誌へ原著論文として、投稿することが義務付けられます。

6) 留意事項

- ① 研究遂行にあたっては、科学的実証性を重視し、かつ本学会の倫理綱領を遵守してください。
- ② 申請者および研究協力者の全員が正会員であることが必要です。
- ③ 同一の申請者が同時に2件申請することはできません。
- ④ 多くの研究者に助成したいので、同一の研究者が2年連続して採択される場合は助成金を半額とし、3年連続は採択されません。
- ⑤ 研究計画書にコピー3部を添えて提出してください。

<申請・応募先>

* 研究計画書様式は、A4サイズの返信用封筒に宛て先を記入して200円切手を貼り、日本音楽療法学会事務局へ請求してください。

■ 日本音楽療法学会 音楽療法士（補）試験実施要項（抜粋） ■

わが国においては1997年に全日本音楽療法連盟の資格認定制度が開始されました。当時、音楽療法士養成課程を有する学校はきわめて少数であり、当然ながら試験制度は採択されませんでした。代わりに、現在にいたるまで臨床の経験を重視した暫定的な処置による音楽療法士認定がなされてきた経緯があります。

しかし同連盟は暫定的な認定制度と並行して1996年に大学や専門学校での教育へのガイドラインとして音楽療法士養成カリキュラム96を制定しています（現在は改定されたカリキュラム01が制定されています）。その後、幾つかの大学、専門学校などにおいてこのガイドラインを基本にした音楽療法士養成コースが設置され、近年になりそれらのコースの卒業生が誕生するようになりました。

これらの卒業生は学会が定めたカリキュラムに基づいて教育訓練を受けた者であり、これらの教育を受けていない者と

は異なる基準で資格認定が行われなくてはならないはずで

す。以上の経緯により、学会により教育カリキュラムの審査を受け承認された大学や専門学校の音楽療法コースの卒業生を対象に音楽療法士（補）認定試験が2001年度より実施されることとなりました。

この試験は各受験者の音楽療法に関する全般的な知識を指定カリキュラムに基づき広い範囲にわたり尋ねるもので、受験生の基本的な知識と能力、また音楽療法士としての適正を確かめる目的で行なわれます。

この試験に合格した者は日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）の資格を得ることができます。この資格は、本人の音楽療法活動の臨床経験が3年をこえる時点で改めて学会に申請すれば（臨床事例報告審査と面接を経て）正式に音楽療法士として認定されます。

1. 試験の日時および会場：《2008年度は→2009年1月18日、日本教育会館》
2. 試験科目：音楽療法科目を中心に、カリキュラムガイドライン01に含まれる教科全般。
3. 受験資格：本学会から教育カリキュラムの審査を受け承認された大学ならびに専門学校等の音楽療法コースの卒業生および見込生。
4. 受験手続：
 - (ア) 学会事務局への受験申請を行う。なお記入に際しては戸籍に記載されている氏名を使用する。
 - (イ) 事前に受験手数料1万円を日本音楽療法学会に振り込む。
 - (ウ) 申請には以下を同封して、日本音楽療法学会へ送付する。
 - ① 受験申請書（該当の教育機関に学会より送付します）。
 - ② 単位取得証明書 および取得中の単位については 単位取得見込み証明書 などそれを証明する書類、なお、専門学校にあっては高等学校卒業後における各種教育機関における単位取得証明書を添付しなければならない。
 - ③ 既卒者は卒業証明書（卒業見込みの者は下記9を参照）。
 - ④ 受験票送付用の 返信用封筒（長形3号サイズ、自分の宛先を記入して、80円切手を貼付する）。
 - ⑤ 受験手数料振込控 のコピー。
 - (エ) 受験時には受験票と本人の写真の付いた証明書（学生証、運転免許証など）を持参する。
5. 試験はマークシートを用いて多岐選択形式で合計150問（試験時間は合計2時間30分）。
受験票、筆記用具（HB鉛筆数本と消しゴム）および時計のみ会場の卓上に置くことができる。
6. その他、試験時に特別な援助などの必要がある場合は事前に事務局に申し出てください。また当日欠席などによる返金はいたしません。
7. 受験申込期間 《2008年11月17日（月）～12月1日（月）までに学会事務局へ必着》
8. 合格者の発表 《2009年2月初旬（審査結果は受験者本人に文書にて通知）》
9. 合格者のうち、卒業見込みの者は卒業後、卒業証明書を当学会事務局へ送付してください。（既卒者は不要）。送付してきた者について当学会音楽療法士（補）の資格証明書を発行します。（既卒者には合格発表と同時に発行します）。この証明書は、正規の当学会音楽療法士の資格認定申請時に必要となります。

スタンリー教授特別講演の報告

研修・講習委員会

委員長 加藤 美知子

2007年11月3日に、フロリダ州立大学のジェイン・スタンリー教授による特別講演「乳幼児、児童、成人のための研究によるエビデンスに基づいた音楽療法の臨床を設定する」が、東京都千代田区のいきいきプラザ一番町のホールにおいて開催されました。スタンリー教授は、米国における医療領域の音楽療法の第一人者であり、これまでに臨床、研究、教育の場で数々の賞を授与されてきました。

当日は2時間という枠の中で、パワーポイントとビデオを通して、実に幅広い臨床場面と研究結果が紹介されました。特に教授の研究において重要な位置をしめる低出生体重児との音楽療法が印象的でした。水銀スイッチがついた子守唄起動装置付きおしゃぶりは、米国で特許を取得済みで、未熟児の吸う能力を促進し、その結果経管栄養の日数の短縮、入院日数の短縮、医療費の節約につながるという、誰にとってもプラスの効果が大きい発明です。また、痛みによるストレスの軽減をはかり、発達の段階に沿って、タッチング、音楽といった刺激の質と量を厳選して提供していくというアプローチも確立されています。

この他に、病棟で外科的処置を受けている子供の気をそらせ、処置をスムーズに苦痛なく進めるために、ベッドサイドで歌い話しかける場面、心臓移植を受けた人が、音楽療法士

と一緒に歌を創作し、ドナーの家族に感謝の気持ちを歌って伝える場面など、どれも短いながら非常に説得力があり、感銘深いものでした。使われている音楽はシンプルでありながら、なぜその音楽がそのように使われているかという意図が明確に伝わってきました。科学という厳密な世界と、シンプルで暖かい音楽の世界が実に見事に融合しているのです。

当日寄せられた114名の方のアンケート結果も、分かりやすかった（50%）、非常に分かりやすかった（46%）と好評でした。「量的リサーチの具体的症例を多く聞けた」「映像が多く分かりやすかった」「医師に聞いてほしい内容だった」等といった感想があった一方で、「日本ではリサーチする場の提供自体が困難である」「音楽療法の社会的認知度を痛感した」といった声もありました。

講演前から、資料作成の翻訳や準備、当日の通訳、帰国日の東京駅までの見送りを通して、スタンリー博士の人柄に触れることができたのは、本当に幸せなことでした。可能であれば、教授の話をもっとじっくりと聴く機会が持てればと思います。また、彼女の著書の翻訳が出版されることも期待しています。最後に、スタンリー教授、そして彼女とともに来日し色々ご援助いただいた、現在フロリダ州立大学に留学中の井上聡子氏のお二人に、心から感謝いたします。

■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

§ 北海道支部

【事務局】〒064-0916 北海道札幌市中央区南16条西7丁目1-7-406 札幌心身医療研究所内
TEL & FAX 011-520-2605
2008年度支部総会ならびに第13回研修会
開催日時：2008年5月25日（日）10：00～16：00
開催場所：北海道札幌市中央区北3条西4丁目1 日本生命札幌ビル5F
北海道医療大学サテライトキャンパス講堂
問合せ先：上記事務局

§ 東北支部

【事務局】〒020-0063 岩手県盛岡市材木町2-20 近文商店2階
FAX 019-651-7838 緊急 090-6252-5282 E-mail jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp
1. 第8回支部学術大会
大会テーマ：「共鳴するところ」～東北における音楽療法の多面性・応用性・可能性～
開催日時：2008年6月7日（土）、8日（日）
開催場所：プラザおでって（岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目1-10）
基調講演 講師 生野 里花 氏
講習会 講師 鈴木 順 氏、高山 仁 氏、猪狩 裕史 氏
問合せ先：上記事務局
2. 新役員体制について
2008年4月より下記の役員体制になりましたのでお知らせします。
支 部 長 智田 邦徳、事務局長 渡邊 恵里
支部役員 山内 郁子（青森）、三井 和子（岩手）、富野 弘之（秋田）
猪狩 裕史（宮城）、富樫 さち子（山形）、今井 香織（福島）

§ 関東支部

【事務局】〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学 郡司研究室内
FAX 047-365-1145
第7回支部講習会・地方大会
大会テーマ：「音楽療法和、輪、笑 ～サイエンスの街つくばからの発信～」
開催日時：2008年12月6日（土）、7日（日）
開催場所：国際会議場エポカル（茨城県つくば市）
問合せ先：上記事務局
※2007年11月に幹事の選挙を行い、42名の新幹事が誕生しました。新三役員は、支部長 村林信行、副支部長 郡司正樹、事務局長 加藤美知子の各氏が選出されました。

§ 信越・北陸支部

【事務局】〒950-2003 新潟県新潟市西区東青山1-11-17
TEL & FAX 025-231-9283 E-mail cobaman@nifty.com
第6回支部学術大会
大会テーマ：日本における音楽療法士の将来像
開催日時：2008年5月31日（土）～6月1日（日）
開催場所：仁愛女子短期大学（福井市）
大会長：野尻 恵美子 氏
参加費 5,000円（1日参加でも2日参加でも同額です）
懇親会費 2,000円（参加者のみ）
問合せ先：〒910-0807 福井市高木北3-605-5
第6回日本音楽療法学会信越・北陸支部事務局 事務局長 紙谷 朋子
TEL 0776-53-9454 E-mail mtfukui@yahoo.co.jp

§ 東海支部

【事務局】〒453-8540 愛知県名古屋市中村区稲葉地町7-1 名古屋音楽大学内 栗林研究室
TEL 052-411-1115（代） FAX 052-413-2300（代）
2008年度支部大会・総会（開催済み）
開催日時：2008年4月26日（土）
開催場所：金城学院大学（愛知県名古屋市）
内 容：講演 柏木 哲夫 氏、若尾 裕 氏
会員の研究発表
※次の大会の開催情報は学会ニュース16号に掲載します。
本年度は役員交代の年に当たり、選挙結果により20名の新役員が決まりすでに活動を始めております。三役は、都築裕治（支部長）、堀田喜久男（副支部長）、栗林文雄（事務局長）の各氏が務めます。

§ 近畿支部

【事務局】〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内
TEL & FAX 072-763-0305 E-mail jmtak@guitar.ocn.ne.jp

2008年度支部大会・講習会・総会

開催日時：2009年3月21日（土）・22日（日）

開催場所：大阪音楽大学

問合せ先：近畿支部ホームページ（<http://www.jmtak.com/>）から

§ 中国支部

【事務局】〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学 木村敦子研究室内
TEL & FAX 082-814-3161 E-mail jmta-cc@h-bunkyo.ac.jp

第8回支部大会・総会 第12回講習会

開催日時：2008年5月24日（土）、25日（日）

開催場所：山口学芸大学（山口市小郡上郷）

問合せ先：上記事務局

§ 四国支部

【事務局】〒762-0082 香川県丸亀市飯山町川原1847-4
TEL & FAX 0877-98-7696

第5回支部学術大会

開催日時：2008年9月28日（日）午前10時～午後4時30分

開催場所：高松短期大学（高松市春日町960）

講師：平田 紀子 先生、智田 邦徳 先生

参加費：事前申し込み：会員・学生2,000円、一般3,000円

当日：会員・学生3,000円、一般4,000円

§ 九州・沖縄支部

【事務局】〒807-0846 福岡県北九州市八幡西区里中3-12-12 八幡厚生病院内
TEL 093-691-3344 FAX 093-603-7213

2008年度講習会

開催日時：2008年6月8日（日）

開催場所：福岡サンパレス練習室

内容：「プレイバックシアター・ワークショップ」

問合せ先：上記事務局

2008年度支部大会

開催日時：2009年2月予定

開催場所：未定

問合せ先：上記事務局

学会事務局からのお知らせ

■ 第9回日本音楽療法学会学術大会開催決定のお知らせ

- 日 時：2009年9月11日（金）・12日（土）・13日（日）
 - 会 場：県民文化会館（愛媛県松山市）
 - 大会長：板東浩（日本音楽療法学会四国支部長）、実行委員長：藤井澄子、事務局長：稲浦調
 - 大会テーマ：未定
- * 大会案内は順次お知らせします。

■ 2008年度研修・講習会開催のお知らせ

- 日時：2009年3月7日（土）・8日（日）
 - 会場：日本教育会館一ツ橋ホール（東京都千代田区）
- * 詳細は次号でお知らせします。

■ 2008年度資格審査、資格更新審査のお知らせ

資格審査

- 第13回の資格審査のための申請受付期間は、2008年10月1日～10月15日です。
 - * 15日（水）必着
- 必ず日本音楽療法学会版の申請書（認定規則）を取り寄せて申請してください。
- * 申請書（認定規則）の取り寄せ方法
240円切手を貼った返信用封筒（A4サイズ、必ず宛先を書いてください）と500円の定額為替を同封の上、「認定規則請求」として事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）
- * 書類審査結果は11月下旬に通知します。なお、書類審査合格者には面接試験（実技を含む、12月13日（土）・12月14日（日）のいずれか1日、会場は東京）の案内が同封されます。

資格更新審査

- 今回は第3回および第8回認定者が対象となります。
- 第8回の資格更新審査のための申請受付期間は、2008年10月16日～10月31日です。
 - * 31日（金）必着
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りしました申請書類（資格更新規則／同細則の日本音楽療法学会版）にて申請してください。また、申請書（資格更新規則／同細則）を紛失された方は上記、認定規則と同じ方法でお取り寄せください。
- 猶予を申請される方も上記の受付期間に申請してください。

いずれの最終審査結果も2009年2月初旬に通知されます。

また、証明書類は現物とコピーの提出となっておりますのでご注意ください。現物は返却しますので、必要な切手を貼り宛先を書いた封筒（A4サイズ）を同送してください。切手の額については重量によって異なりますので郵便局にてご確認ください。なお、配達記録にて返却しますので通常料金に210円加算して切手を貼付してください。

■ 会費（年会費）納入のお願い

2008年度新年度が始まりました。年会費は別便にてお送りしました専用の振替用紙にて早めにお納めいただきますようお願いいたします。

正会員	10,000円	学生会員	6,000円
購読会員	6,000円	賛助会員	50,000円／1口

振込先 郵便振替口座 ○加入者名：日本音楽療法学会
○口座番号：00120-9-657711

■ カリキュラムガイドライン01の取り寄せについて

120円切手を貼った返信用封筒（B5サイズ、宛先明記）を同封の上、「カリキュラムガイドライン01請求」として事務局へお申し込みください。

■ 第7回認定音楽療法士(補)試験問題解説集および合冊版(第1回～第5回)の発行について

2001年に発表された「カリキュラムガイドライン'01」適用の音楽療法コース卒業生を対象に、2008年1月13日、第7回の認定試験を実施しました。この試験問題の解答と解説集を発行します。(2008年7月頃予定) 昨年度(2008年1月13日)の受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外の方で入手希望の方は以下に沿ってお申し込みください。(送付は7月以降)

また、2001年度第1回から2005年度第5回までの5回分の音楽療法士(補)試験問題解説集を1冊にまとめた合冊版を発行しました。合冊版は1冊で3,000円です。なお、従来通り第1回から第6回まで、年度別の音楽療法士(補)試験問題解説集もそれぞれ発行されています。年度別の試験問題解説集は1冊1,000円です。

購入を希望される方は希望の試験問題解説集の年度と冊数(合冊版を希望の場合はその旨)を明記の上で、送料分の切手を貼付した返信用封筒(A4サイズ、宛先明記)と冊数分の合計金額の郵便為替(郵便局にて購入)を同封して、学会事務局へお申し込みください。為替は金額に応じて、1,000円の定額為替を必要枚数購入されても、合計金額の額面で普通為替を1枚購入されても、どちらでも結構です。なお送料は、年度別の試験問題解説集の場合、1冊200円、2冊240円、3～5冊390円、6～7冊580円です。合冊版1冊の送料は390円、合冊版1冊+年度別の試験問題解説集1～2冊の場合は580円です。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方(わかりやすい学会発表をするために)」が発行されています。(B5版76ページ、2006年8月23日発行) 購入を希望される方は240円切手を貼付した返信用封筒(B5サイズ、宛先明記)と1,000円の定額為替(郵便局にて購入)を同封の上、「抄録の書き方請求」として学会事務局へお申し込みください。

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌のバックナンバー購入につきましては学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社
TEL: 03-3813-6751 FAX: 03-3818-4634

■ 事務局への各種お届けについて

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで区分変更の届出をお願いします。正会員から学生会員へ変更を希望される場合も事務局へ届け出てください。(学生証のコピー添付)

また、市町村の合併により住所に変更があった会員の方も、事務局まで住所変更を届け出てください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載することになりました。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。

これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ お詫びと訂正

第8回日本音楽療法学会学術大会第3次(最終)案内の5ページおよび49ページにおいて、会場の昭和音楽大学の住所に誤りがありました。お詫びして正しい住所を以下にお知らせいたします。

昭和音楽大学 〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1